

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票										計上No. 6013803 - 0019	
作業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2018年2月28日		(水)	10:00		承認	審査	作成		
	作業件名	B南エリアエアータンク基礎他設置工事									
	発生場所	Bエリア						2018/2/16	2018/2/16	2018/2/16	
	作業主管G	貯留設備土木グループ				監理員			TEL		
	元請会社					担当者			TEL		
	線量測定年月日	2018/2/13	測定者			測定器名	βγ用電離箱		管理番号	F1-ICWBL-133	
	No.	保管物名		※カテゴリ		物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β+γ 線量率	
	1	アスファルトガラ		B	09	D	A	3 m ³	0.008 mSv/h	0.1 mSv/h	β有
2							m ³				
3							m ³				
4							m ³				
5							m ³				
※No1については、今後コンテナ詰め予定											

固体廃棄物管理G記入欄					受付
受 付 番 号					2018/2/16
廃2018	—	02	—	0535	
調整後保管日時		2018年2月28日			10:00
【保管時の指示事項等】					

線量測定内容				
測定日	2018年2月28日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICWBL	F1-ICWBL-55	
2				
3				
4				

保管 実績 記入 欄 メ モ	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		β+γ 線量率		保管場所	保管日時	物 量		再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
				5	μ Sv/h	200	μ Sv/h	300	μ Sv/h			3	m ³			
	1	1	アスファルトガラ	5	μ Sv/h	200	μ Sv/h	300	μ Sv/h	エリアP2	2018/2/28 9:30	3	m ³			1
													m ³			
													m ³			
													m ³			
													m ³			

* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用／減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。 固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ホリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
		D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		②	状 態	D:乾燥, W:湿気有		③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」					

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013803 - 0019

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2018	—	02	—	0536
				2018/2/16
調整後保管日時		2018年2月28日		11:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2018年2月28日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICWBL	F1-ICWBL-55
2			
3			
4			

作 業 主 管 G 記 入 欄	保管希望日時	2018年2月28日		(水)	11:00		承認	審査	作成		
	作業件名	B南エリアエアータンク基礎他設置工事									
	発生場所	Bエリア				2018/2/16	2018/2/16	2018/2/16			
	作業主管G	貯留設備土木グループ			監理員			TEL			
	元請会社				担当者			TEL			
	線量測定年月日	2018/2/13	測定者			測定器名	βγ用電離箱		管理番号	F1-ICWBL-133	
	No.	保管物名	※カテゴリ		物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β + γ 線量率		
	1	アスファルトガラ	B	09	D	A	3 m ²	0.008 mSv/h	0.1 mSv/h	β有	0.2 mSv/h
	2						m ²				
	3						m ²				
4						m ²					
5						m ²					
メ モ	※No1については、今後コンテナ詰め予定										

保 管 実 績 記 入 欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β + γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	アスファルトガラ	5 μSv/h	60 μSv/h	160 μSv/h	エリアP2	2018/2/28 11:40	3 m ²			1
									m ²			
									m ²			
									m ²			
									m ²			
メ モ	*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載											

※カ テ ゴ リ	A	可 燃 物	01 紙・ウェス類	02 プラスチック・ホリ・ビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05 —
			06 —	07 —	08 —	09 —	10 —
	B	不 燃 物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05 塩化ビニール類
			06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10 不燃物その他
			11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 —	14 —	15 —
	C	難 燃 物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05 —
			01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05 —
	D	伐 採 木					
	②	状 態	D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」	

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)
 注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。
 注5: β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β + γ線量率欄に「β + γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β + γ線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013104 - 0002

作 業 主 管 G 記 入 欄	保管希望日時	2018年2月27日	(火)	8:30	承認	審査	作成				
	作業件名	1～4号機建屋接続トレンチほか閉塞工事									
	発生場所	1F構外北側駐車場エリア(廃棄物・伐採木置場)			2018/2/16	2018/2/16	2018/2/16				
	作業主管G	トレンチ対策グループ			監理員	TEL					
	元請会社				担当者	TEL					
	線量測定年月日	2018/2/15	測定者		測定器名	SC	管理番号 F1-SC-207				
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率				
		①	②	③			$\beta + \alpha$ 汚染の有無				
	1	木材類	A	03	W	B	2 m ³	1 μ Sv/h	1 μ Sv/h	無	$\beta + \gamma$ 線量率
	2						m ³				
	3						m ³				
	4						m ³				
	5						m ³				
メモ	注: α 有、 β α 有の場合、 α 線量情報をここに記載のこと。										

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2018	—	02	—	0538
				2018/2/16
調整後保管日時		2018年2月27日		8:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2018年2月27日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-158
2			
3			
4			

保 管 実 績 記 入 欄	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	木材類	2 μ Sv/h	2 μ Sv/h		エリアO	2018/2/27 8:35	2 m ³			1
									m ³			
									m ³			
									m ³			
メモ	* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載											

※カテ ゴリ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ホリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				D	伐 採 木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—
		②	状 態			D:乾燥, W:湿気有		③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」			

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票										計上No. 6013104 - 0002																													
作業主管理G記入欄	保管希望日時	2018年2月28日		(水)	8:30		承認	審査	作成																														
	作業件名	1～4号機建屋接続トレンチほか閉塞工事																																					
	発生場所	1F構外北側駐車場エリア(廃棄物・伐採木置場)					2018/2/16	2018/2/16	2018/2/16																														
	作業主管G	トレンチ対策グループ			監理員			TEL																															
	元請会社				担当者			TEL																															
	線量測定年月日	2018/2/15	測定者			測定器名	SC		管理番号	F1-SC-207																													
	No.	保管物名			※カテゴリ		物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率																												
	1	紙・ウエス類			A 01	W	B	0.5 m ²	1 μ Sv/h	1 μ Sv/h	無																												
	2	プラスチック・ポリ・ビニール類			A 02	W	B	3 m ²	1 μ Sv/h	1 μ Sv/h	無																												
	3	可燃物その他			A 04	W	B	1 m ²	1 μ Sv/h	1 μ Sv/h	無																												
4	ゴム類			C 01	W	B	0.5 m ²	1 μ Sv/h	1 μ Sv/h	無																													
5							m ²																																
注: α 有、 $\beta \alpha$ 有の場合、 α 線量情報をここに記載のこと。																																							
<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="4">線量測定内容</th> </tr> <tr> <th>測定日</th> <th colspan="3">2018年2月28日</th> </tr> <tr> <th>測定No.</th> <th>氏名</th> <th>測定器</th> <th>管理番号</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td></td> <td>ICW</td> <td>F1-ICW-158</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>4</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>												線量測定内容				測定日	2018年2月28日			測定No.	氏名	測定器	管理番号	1		ICW	F1-ICW-158	2				3				4			
線量測定内容																																							
測定日	2018年2月28日																																						
測定No.	氏名	測定器	管理番号																																				
1		ICW	F1-ICW-158																																				
2																																							
3																																							
4																																							
保管実績記入欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.																											
	1	1	紙・ウエス類	2 μ Sv/h	2 μ Sv/h		エリアO	2018/2/28 8:35	2.1 m ²			1																											
	2	1	プラスチック・ポリ・ビニール類	2 μ Sv/h	2 μ Sv/h		エリアO	2018/2/28 8:35	2.9 m ²			1																											
	3	1	可燃物その他	2 μ Sv/h	2 μ Sv/h		エリアO	2018/2/28 8:35	2.5 m ²			1																											
									m ²																														
									m ²																														
	* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載																																						
※カテゴリ	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—																										
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—																										
			B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類																									
					06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他																									
					11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—																									
					01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—																									
		D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—																										
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—																										
		②	状 態	D:乾燥, W:湿気有		③	履 歴		A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」																														
注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)																																							
注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。																																							
注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。																																							

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票										計上No. 6012902 - 0047					
作 業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2018年2月27日		(火)	10:00		承認	審査	作成						
	作業件名	汚染水タンク電源ネットワーク新設(その4)H29													
	発生場所	J3タンクエリア周辺						2018/2/16	2018/2/16	2018/2/16					
	作業主管G	配電・電路グループ			監理員			TEL							
	元請会社				担当者			TEL							
	線量測定年月日	2018/2/16	測定者			測定器名	電離箱サーベイメータ		管理番号	F1-ICW-052					
	No.	保管物名			※カテゴリ		物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β + γ 線量率				
	1	Asガラ			B	09	D	A	6 m ³	4 μSv/h	4 μSv/h	無			
	2								m ³						
	3								m ³						
	4								m ³						
	5								m ³						
線量測定内容															
	測定日	2018年2月27日													
	測定No.	氏名	測定器	管理番号											
	1		ICW	F1-ICW-025											
	2														
	3														
	4														
保 管 実 績 記 入 欄 メ モ	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		β + γ 線量率		保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	Asガラ ①	5	μSv/h	5	μSv/h			エリアC	2018/2/27 10:10	3 m ³			1
	1	2	Asガラ ①	5	μSv/h	5	μSv/h			エリアC	2018/2/27 11:35	3 m ³			1
												m ³			
												m ³			
* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。 固体庫保管時はコンテナNo.記載															
メ モ															

※カテゴリー	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—	
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—	
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類	
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他	
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—	
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—	
				D	伐 採 木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05
		②	状 態			D:乾燥, W:湿気有		③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」				

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β + γ線量率欄に「β + γ」の線量率を記載すること。β 汚染無の場合は、β + γ線量率の記載不要。

計上No.	6012902 - 0047
-------	----------------

固体廃棄物管理G記入欄					受付
受 付 番 号					
廃2018	—	02	—	0541	
調整後保管日時		2018年2月27日			12:30
【保管時の指示事項等】					

保管実績記入欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		$\beta + \gamma$ 線量率		保管場所	保管日時	物 量		再利用／ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	Asガラ ⑪	5	$\mu\text{Sv/h}$	5	$\mu\text{Sv/h}$			エリアC	2018/2/27 12:40	3	m ³			1
													m ³			
													m ³			
													m ³			
													m ³			

* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用／減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

メモ

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウェス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
		D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		②	状態	D:乾燥, W:湿気有	③	履歴	A:「1F構内にあった物」 B:「工事のために持ち込まれた物」						

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)
注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。
注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013203 - 0018

作 業 主 管 G 記 入 欄	保管希望日時	2018年2月27日		(火)	12:30		承認	審査	作成		
	作業件名	1,2号機T/B屋上部雨水対策工事									
	発生場所	1,2号機T/B建屋周辺						2018/2/16	2018/2/16	2018/2/16	
	作業主管G	建築水対策グループ				監理員			TEL		
	元請会社					担当者			TEL		
	線量測定年月日	2018/2/13	測定者			測定器名	ICWBL(β+γ)		管理番号	F1-ICWBL-24	
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β+γ 線量率		
		①	②	③							
	1	難燃物(ゴム類)	C	01	D	B	0.6 m ²	0.003 mSv/h	0.015 mSv/h	β有	0.06 mSv/h
	2	難燃物(その他)	C	04	D	B	7 m ²	0.003 mSv/h	0.003 mSv/h	無	
	3						m ²				
	4						m ²				
	5						m ²				
メモ	注: α有、β α有の場合、α線量情報をここに記載のこと。										

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受付番号				
廃2018	—	02	—	0542
				2018/2/16
調整後保管日時		2018年2月27日		12:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2018年2月27日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICWBL	F1-ICWBL-55
2			
3			
4			

保管実績記入欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β+γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	難燃物(ゴム類)	5 μSv/h	10 μSv/h	60 μSv/h	エリアX	2018/2/27 11:00	2 m ²			1
									m ²			
									m ²			
									m ²			
									m ²			

* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

メモ	
----	--

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
		D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		②	状態	D:乾燥, W:湿気有		③	履歴	A:「1F構内にあった物」、B:「工事のために持ち込まれた物」					

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013203 - 0018

作業主管理	保管希望日時	2018年2月28日		(水)	12:30	承認	審査	作成		
	作業件名	1,2号機T/B屋上部雨水対策工事								
	発生場所	1,2号機T/B建屋周辺					2018/2/27	2018/2/27	2018/2/27	
	作業主管G	建築水対策グループ			監理員	TEL				
	元請会社				担当者	TEL				
G記入欄	線量測定年月日	2018/2/13	測定者			測定器名	ICWBL($\beta + \gamma$)		管理番号	F1-ICWBL-24
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率	
		①	②	③						
	1	可燃物(紙・ウエス類)	A 01	D B	0.5 m ²	0.003 mSv/h	0.003 mSv/h	β 有	0.07 mSv/h	
	2	可燃物(プラ・ポリ・ビニール類)	A 02	D B	0.1 m ²	0.003 mSv/h	0.035 mSv/h	β 有	0.07 mSv/h	
3	可燃物(その他)	A 04	D B	0.8 m ²	0.003 mSv/h	0.003 mSv/h	β 有	0.07 mSv/h		
4	可燃物(木材類)	A 03	D B	0.8 m ²	0.003 mSv/h	0.003 mSv/h	β 有	0.07 mSv/h		
5					m ²					
メモ	注: α 有、 $\beta \alpha$ 有の場合、 α 線量情報をここに記載のこと。									

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2018	—	02	—	0543
				2018/2/27
調整後保管日時		2018年2月28日		12:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2018年2月28日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICWBL	F1-ICWBL-55
2			
3			
4			

保管実績記入欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	可燃物(紙・ウエス類)	5 μ Sv/h	20 μ Sv/h	50 μ Sv/h	エリアX	2018/2/28 10:00	0.5 m ²			1
	2	1	可燃物(プラ・ポリ・ビニール類)	5 μ Sv/h	40 μ Sv/h	80 μ Sv/h	エリアX	2018/2/28 10:00	0.1 m ²			1
	3	1	可燃物(その他)	5 μ Sv/h	30 μ Sv/h	50 μ Sv/h	エリアX	2018/2/28 10:00	0.8 m ²			1
	4	1	可燃物(木材類)	5 μ Sv/h	30 μ Sv/h	50 μ Sv/h	エリアX	2018/2/28 10:00	0.8 m ²			1
メモ	* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載											

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—
		②	状態			D:乾燥, W:湿気有	③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」				

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013101 - 0002

作 業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2018年2月27日		(火)	8:00		承認	審査	作成	
	作業件名	構内排水路清掃業務委託(毎年度)								
	発生場所	A・B・C・K・M系排水路						2018/2/19	2018/2/19	2018/2/19
	作業主管G	土木保全・総括グループ				監理員			TEL	
	元請会社					担当者			TEL	
	線量測定年月日	2018/2/9	測定者			測定器名	ICW		管理番号	F1-ICW-120
	No.	保管物名		※カテゴリ		物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の 有無	β + γ 線量率
1	土砂類		B	04	W	A	8 m ³	0.01 mSv/h	0.07 mSv/h	無
2							m ³			
3							m ³			
4							m ³			
5							m ³			
注: α有、β α有の場合、α線量情報をここに記載のこと。										

固体廃棄物管理G記入欄					受付
受 付 番 号					
廃2018	—	02	—	0545	2018/2/19
調整後保管日時		2018年2月27日		8:00	
【保管時の指示事項等】					

線量測定内容				
測定日	2018年2月27日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICW	F1-ICW-025	
2				
3				
4				

保 管 実 績 記 入 欄 メ モ	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β + γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	土砂類 ⑩	5 μSv/h	15 μSv/h		エリアC	2018/2/27 8:00	8 m ³			1
									m ³			
									m ³			
									m ³			
									m ³			
* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												
メ モ												

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—	
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—	
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類	
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他	
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—	
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—	
		D	伐 採 木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—	
		②	状 態	D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」、B:「工事のために持ち込まれた物」							

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β + γ線量率欄に「β + γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β + γ線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票										計上No. 6013704 - 0017		
作 業 主 管 記 入 欄	保管希望日時	2018年2月28日		(水)	9:30		承認	審査	作成			
	作業件名	タンク減容・保管委託(H29)										
	発生場所	定検機材倉庫A					2018/2/16	2018/2/16	2018/2/16			
	作業主管G	貯留設備グループ			監理員			TEL				
	元請会社				担当者			TEL				
	線量測定年月日	2017/10/19	測定者			測定器名	F1-ICWBL、H		管理番号	189,29		
	No.	保管物名		※カテゴリ		物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β + γ 線量率		
1	フランジタンク片側板 (T170024)		B	11	D	A	21 m ²	0.006 mSv/h	0.015 mSv/h	β 有	150	mSv/h
2	フランジタンク片側板 (T170042)		B	11	D	A	21 m ²	0.002 mSv/h	0.002 mSv/h	β 有	10	mSv/h
3	フランジタンク片側板 (T170046)		B	11	D	A	21 m ²	0.002 mSv/h	0.002 mSv/h	β 有	1	mSv/h
4	フランジタンク片側板 (T170050)		B	11	D	A	21 m ²	0.004 mSv/h	0.004 mSv/h	β 有	6	mSv/h
5	フランジタンク片側板 (T170060)		B	11	D	A	21 m ²	0.002 mSv/h	0.002 mSv/h	β 有	12	mSv/h
メ モ	注: α 有、β α 有の場合、α 線量情報をここに記載のこと。 ※20ftコンテナに積み込み、保管致します。											

固体廃棄物管理G記入欄					受付
受 付 番 号					
廃2018	—	02	—	0546	2018/2/19
調整後保管日時		2018年2月28日		9:30	
【保管時の指示事項等】					
P1へ直接搬入願います。					

線量測定内容			
測定日	2018年2月28日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICWBL	F1-ICWBL-105
2			
3			
4			

保管 実績 記 入 欄	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β + γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	フランジタンク片側板 (T170024)	2 μ Sv/h	3 μ Sv/h	3 μ Sv/h	エリアP1(フランジタンク)	2018/2/28 9:30	21 m ²		T170024	1
	2	1	フランジタンク片側板 (T170042)	2 μ Sv/h	2 μ Sv/h	2 μ Sv/h	エリアP1(フランジタンク)	2018/2/28 9:30	21 m ²		T170042	1
	3	1	フランジタンク片側板 (T170046)	2 μ Sv/h	2 μ Sv/h	2 μ Sv/h	エリアP1(フランジタンク)	2018/2/28 9:30	21 m ²		T170046	1
	4	1	フランジタンク片側板 (T170050)	2 μ Sv/h	4 μ Sv/h	4 μ Sv/h	エリアP1(フランジタンク)	2018/2/28 9:30	21 m ²		T170050	1
	5	1	フランジタンク片側板 (T170060)	2 μ Sv/h	3 μ Sv/h	3 μ Sv/h	エリアP1(フランジタンク)	2018/2/28 9:30	21 m ²		T170060	1
* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												
メ モ												

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01 紙・ウェス類	02 プラスチック・ポリ・ビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05 —			
				06 —	07 —	08 —	09 —	10 —			
		B	不 燃 物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05 塩化ビニール類			
				06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10 不燃物その他			
				11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 —	14 —	15 —			
		C	難燃物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05 —			
		D	伐 採 木	01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05 —			
		②	状 態	D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」				

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β + γ 線量率欄に「β + γ」の線量率を記載すること。β 汚染無の場合は、β + γ 線量率の記載不要。

瓦礫類・伐採木管理票（別紙）

作業 主管 G 記入 欄	No.	保 管 物 名	※カテゴリ			物 量		測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		$\beta \cdot \alpha$ 汚染の 有無	$\beta + \gamma$ 線量率		
			①	②	③										
	6	フランジタンク片側板(T170065)	B	11	D	A	21	m ²	0.002	mSv/h	0.002	mSv/h	β 有	15	mSv/h
	7	フランジタンク片側板(T170075)	B	11	D	A	21	m ²	0.002	mSv/h	0.002	mSv/h	β 有	1	mSv/h
	8	フランジタンク片側板(T170079)	B	11	D	A	21	m ²	0.005	mSv/h	0.008	mSv/h	β 有	250	mSv/h
	9	フランジタンク片側板(T170082)	B	11	D	A	21	m ²	0.002	mSv/h	0.002	mSv/h	β 有	10	mSv/h
	10	フランジタンク片側板(T170083)	B	11	D	A	21	m ²	0.003	mSv/h	0.006	mSv/h	β 有	150	mSv/h

固体廃棄物管理G記入欄					
受付番号	廃2018	—	02	—	0546

保管場所	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		$\beta + \gamma$ 線量率		保管場所	保管日時	物 量		再利用／ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
実績記入欄	6	1	フランジタンク片側板(T170065)	2	μ Sv/h	6	μ Sv/h	6	μ Sv/h	エリアP1(フランジタンク)	2018/2/28 9:30	21	m ²		T170065	1
	7	1	フランジタンク片側板(T170075)	2	μ Sv/h	3	μ Sv/h	3	μ Sv/h	エリアP1(フランジタンク)	2018/2/28 9:30	21	m ²		T170075	1
	8	1	フランジタンク片側板(T170079)	2	μ Sv/h	3	μ Sv/h	3	μ Sv/h	エリアP1(フランジタンク)	2018/2/28 9:30	21	m ²		T170079	1
	9	1	フランジタンク片側板(T170082)	2	μ Sv/h	2	μ Sv/h	2	μ Sv/h	エリアP1(フランジタンク)	2018/2/28 9:30	21	m ²		T170082	1
	10	1	フランジタンク片側板(T170083)	2	μ Sv/h	5	μ Sv/h	5	μ Sv/h	エリアP1(フランジタンク)	2018/2/28 9:30	21	m ²		T170083	1
													m ²			
														m ²		
														m ²		
														m ²		
														m ²		

* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用／減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カテゴリー	①	A	可燃物	01 紙・UES類		02 プラスチック・ホリ・ビニール類		03 木材類		04 可燃物その他		05 —		
				06 —		07 —		08 —		09 —		10 —		
		B	不燃物	01 金属ガラ		02 コンクリートガラ		03 機器類・制御盤類		04 土砂類		05 塩化ビニール類		
				06 保温材		07 石綿含有物		08 ケーブル類		09 アスファルトガラ		10 不燃物その他		
				11 フランジタンク本体		12 フランジタンク付属品		13 —		14 —		15 —		
		C	難燃物	01 ゴム類		02 難燃シート類		03 ホース類		04 難燃物その他		05 —		
				D	伐採木	01 伐採木(幹・根)		02 伐採木(枝・葉)		03 —		04 —		05 —
		②	状態			D:乾燥, W:湿気有		③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」				

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)
注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。
注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013708 - 0028

作業 主 管 入 欄	保管希望日時	2018年2月28日		(水)	11:30		承認	審査	作成	
	作業件名	雨水移送設備処理設備PE管他設置工事【その1】								
	発生場所	タンクヤード						2018/2/16	2018/2/16	2018/2/16
	作業主管G	貯留設備グループ				監理員	TEL			
	元請会社					担当者	TEL			
	線量測定年月日	2018/2/9	測定者			測定器名	電離箱測定器		管理番号	F1-ICWBL-102
	No.	保管物名	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β+γ 線量率
1	PE管(コイル付き)	B	10	D	B	1 m ²	1 μSv/h	1 μSv/h	無	
2	金属ガラ	B	01	D	B	1 m ²	1 μSv/h	1 μSv/h	無	
3						m ²				
4						m ²				
5						m ²				
メモ	注: α有、β α有の場合、α線量情報をここに記載のこと。									

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2018	—	02	—	0547
				2018/2/19
調整後保管日時		2018年2月28日		11:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2018年2月28日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICWBL	F1-ICWBL-55	
2				
3				
4				

保管 実績 記入 欄	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β+γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	PE管(コイル付き) ③	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアC	2018/2/28 10:20	1 m ²			1
	2	1	金属ガラ ⑩	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアC	2018/2/28 10:20	1 m ²			1
									m ²			
									m ²			
									m ²			

* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用／減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

メモ	
----	--

※カテゴリー	①	A	可燃物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ポリ・ビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05 —
				06 —	07 —	08 —	09 —	10 —
		B	不燃物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05 塩化ビニール類
				06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10 不燃物その他
				11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 —	14 —	15 —
		C	難燃物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05 —
				D	伐採木	01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β 汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。

瓦礫類・伐採木管理票

計上No. 6013803 - 0016

作業主管理記入欄	保管希望日時	2018年2月28日		(水)	8:30		承認	審査	作成					
	作業件名	G6エリアタンク基礎他設置並びに関連除却工事												
	発生場所	G6エリア						2018/2/19	2018/2/17	2018/2/17				
	作業主管G	貯留設備土木グループ				監理員			TEL					
	元請会社					担当者			TEL					
	線量測定年月日	2018/2/16	測定者			測定器名	ICWBL		管理番号	T-ICWBL-04				
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率					
		①	②	③										
1	タンク副部材	B	12	D	A	2	m ²	0.02	mSv/h	0.02	mSv/h	無		
2	金属ゴミ	B	01	D	B	2	m ²	0.02	mSv/h	0.02	mSv/h	無		
3	不燃その他	B	10	D	B	1	m ²	0.02	mSv/h	0.02	mSv/h	無		
4							m ²							
5							m ²							

注: α 有、 $\beta \alpha$ 有の場合、 α 線量情報をここに記載のこと。

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受付番号				
廃2018	—	02	—	0548
				2018/2/19
調整後保管日時		2018年2月28日		8:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2018年2月28日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICWBL	F1-ICWBL-55	
2				
3				
4				

保管実績記入欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	2	1	金属ゴミ⑩	5 μ Sv/h	5 μ Sv/h		エリアC	2018/2/28 8:35	1 m ²			1
									m ²			
									m ²			
									m ²			
									m ²			

* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
		D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		②	状態	D:乾燥, W:湿気有		③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」					

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)
 注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。
 注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013803 - 0016

作業主管理記入欄	保管希望日時	2018年2月28日		(水)	12:30	承認	審査	作成		
	作業件名	G6エリアタンク基礎他設置並びに関連除却工事								
	発生場所	G6エリア					2018/2/19	2018/2/17	2018/2/17	
	作業主管G	貯留設備土木グループ			監理員	TEL				
	元請会社				担当者	TEL				
	線量測定年月日	2018/2/16	測定者			測定器名	ICWBL	管理番号	T-ICWBL-04	
	No.	保管物名	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率
1	タンク副部材	B	12	D	A	2 m ²	0.02 mSv/h	0.02 mSv/h	無	
2	金属ゴミ	B	01	D	B	2 m ²	0.02 mSv/h	0.02 mSv/h	無	
3	不燃その他	B	10	D	B	1 m ²	0.02 mSv/h	0.02 mSv/h	無	
4						m ²				
5						m ²				
注: α 有、 $\beta \alpha$ 有の場合、 α 線量情報をここに記載のこと。										

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2018	—	02	—	0549
				2018/2/19
調整後保管日時		2018年2月28日		12:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2018年2月28日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICWBL	F1-ICWBL-55	
2				
3				
4				

保管実績記入欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	タンク副部材 ⑩	5 μ Sv/h	6 μ Sv/h		エリアC	2018/2/28 12:00	1 m ²			1
	2	1	金属ゴミ ⑩	5 μ Sv/h	6 μ Sv/h		エリアC	2018/2/28 12:00	2 m ²			1
									m ²			
									m ²			
									m ²			
									m ²			
* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												
メ モ												

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—	
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—	
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類	
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他	
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—	
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—	
		D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—	
		②	状態	D:乾燥, W:湿気有	③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」							

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6012911 - 0001

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2018	—	02	—	0550
				2018/2/19
調整後保管日時		2018年2月28日		9:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2018年2月28日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICWBL	F1-ICWBL-55
2			
3			
4			

作業 主 管 G 記 入 欄	保管希望日時	2018年2月28日		(水)	9:30	承認	審査	作成		
	作業件名	1F-3号機 原子炉建屋燃料取り出し用カバー工事								
	発生場所	共用プール建屋内 / 3号 屋外 Rw/B西側					2018/2/19	2018/2/16	2018/2/16	
	作業主管G	設備電源グループ			監理員	TEL				
	元請会社				担当者	TEL				
	線量測定年月日	2018/2/7	測定者		測定器名	ICW/ICWBL		管理番号	注1	
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の 有無	β + γ 線量率	
	1	ケーブル屑	B	08	D	B	5 m ²	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h	無
	2						m ²			
	3						m ²			
4						m ²				
5						m ²				
メ モ	注: α有、β α有の場合、α線量情報をここに記載のこと。 注1: F1-ICW-154/F1-ICWBL-92									

保管 実 績 記 入 欄	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β + γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	ケーブル屑 ⑩	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアC	2018/2/28 9:00	4 m ²			1
									m ²			
									m ²			
									m ²			
									m ²			
メ モ	*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載											

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ホリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
		D	伐 採 木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		②	状 態	D:乾燥, W:湿気有		③	履 歴	A:「1F構内にあった物」　B:「工事のために持ち込まれた物」					

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)
 注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。
 注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β + γ線量率欄に「β + γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β + γ線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票										計上No. 6012312 - 0004	
---------------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	----------------------	--

作業主管理G記入欄	保管希望日時	2018年2月28日		(水)	10:30		承認	審査	作成						
	作業件名	JV排水移送業務(1F構内)													
	発生場所	車輛汚染検査場						2018/2/16	2018/2/16	2018/2/16					
	作業主管G	放射線安全グループ				監理員	TEL								
	元請会社					担当者	TEL								
	線量測定年月日	2018/2/14	測定者			測定器名	ICWBL		管理番号	F1-ICWBL-123					
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β + γ 線量率						
	1	パワートート(容器、パレット)	A	02	D	B	5	m ²	0.01	mSv/h	0.01	mSv/h	無		
	2							m ²							
3							m ²								
4							m ²								
5							m ²								

固体廃棄物管理G記入欄					受付
受 付 番 号					
廃2018	—	02	—	0551	2018/2/19
調整後保管日時		2018年2月28日		10:30	
【保管時の指示事項等】					

線量測定内容				
測定日	2018年2月28日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICW	F1-ICW-158	
2				
3				
4				

保管実績記入欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β + γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	パワートート(容器、パレット) (→H)	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアO	2018/2/28 10:25	5 m ²			1
									m ²			
									m ²			
									m ²			
									m ²			

* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ホリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—
		②	状態			D:乾燥, W:湿気有	③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」				

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β + γ 線量率欄に「β + γ」の線量率を記載すること。β 汚染無の場合は、β + γ 線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票												計上No. 6012312 - 0004																																				
作 業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2018年2月28日				(水)	11:30		承認	審査	作成																																					
	作業件名	JV排水移送業務(1F構内)																																														
	発生場所	車両汚染検査場							2018/2/16	2018/2/16	2018/2/16																																					
	作業主管G	放射線安全グループ				監理員			TEL																																							
	元請会社					担当者			TEL																																							
	線量測定年月日	2018/2/14	測定者			測定器名	ICWBL		管理番号	F1-ICWBL-123																																						
	No.	保管物名		※カテゴリ		物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率		β・α 汚染の有無	β + γ 線量率																																					
	1	パワートート(容器、パレット)		A	02	D	B	5 m ²	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h	無																																					
	2							m ²																																								
	3							m ²																																								
4							m ²																																									
5							m ²																																									
<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="5">線量測定内容</th> </tr> <tr> <th>測定日</th> <th colspan="4">2018年2月28日</th> </tr> <tr> <th>測定No.</th> <th>氏名</th> <th>測定器</th> <th colspan="2">管理番号</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td></td> <td>ICW</td> <td colspan="2">F1-ICW-158</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td>4</td> <td></td> <td></td> <td colspan="2"></td> </tr> </tbody> </table>														線量測定内容					測定日	2018年2月28日				測定No.	氏名	測定器	管理番号		1		ICW	F1-ICW-158		2					3					4				
線量測定内容																																																
測定日	2018年2月28日																																															
測定No.	氏名	測定器	管理番号																																													
1		ICW	F1-ICW-158																																													
2																																																
3																																																
4																																																
保 管 実 績 記 入 欄 メ モ	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β + γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.																																				
	1	1	パワートート(容器、パレット) (→H)	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアO	2018/2/28 11:35	5 m ²			1																																				
									m ²																																							
									m ²																																							
									m ²																																							
									m ²																																							
*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載																																																
※ カ テ ゴ リ	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—																																			
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—																																			
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類																																			
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他																																			
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—																																			
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—																																			
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—																																			
		D	伐採木																																													
	②	状 態	D:乾燥, W:湿気有		③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」																																									
注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。) 注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。 注5: β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β + γ線量率欄に「β + γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β + γ線量率の記載不要。																																																

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6012312 - 0004

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2018	—	02	—	0553
				2018/2/19
調整後保管日時		2018年2月28日		11:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2018年2月28日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICWBL	F1-ICWBL-55
2			
3			
4			

作業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2018年2月28日		(水)	11:30		承認	審査	作成	
	作業件名	JV排水移送業務(1F構内)								
	発生場所	車両汚染検査場						2018/2/16	2018/2/16	2018/2/16
	作業主管G	放射線安全グループ				監理員	TEL			
	元請会社					担当者	TEL			
	線量測定年月日	2018/2/14	測定者			測定器名	ICWBL	管理番号	F1-ICWBL-123	
	No.	保管物名	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率
	1	金属ガラ	B	01	D	B	5 m ³	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h	無
	2						m ³			
	3						m ³			
4						m ³				
5						m ³				

保管 実績 記入 欄 メ モ	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	金属ガラ⑩	5 μ Sv/h	5 μ Sv/h		エリアC	2018/2/28 12:55	5 m ³			1
									m ³			
									m ³			
									m ³			
									m ³			

*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ポリ・ビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05	—
				06 —	07 —	08 —	09 —	10 —	
		B	不 燃 物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05	塩化ビニール類
				06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 —	14 —	15	—
		C	難燃物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05	—
		D	伐 採 木	01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05	—
		②	状 態	D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」		

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)
 注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。
 注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013402 - 0065

作業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2018年2月28日		(水)	11:30		承認	審査	作成	
	作業件名	重油処理業務								
	発生場所	6号機 T/B 大物搬入口						2018/2/19	2018/2/19	2018/2/19
	作業主管G	機械グループ				監理員			TEL	
	元請会社					担当者			TEL	
	線量測定年月日	2018/2/14	測定者			測定器名	電離箱式サーベイメータ		管理番号	F1-ICWBL-48
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の 有無	β + γ 線量率	
1	ドラム缶(プレス済み)	B	01	D	A	2 m ³	5 μSv/h	5 μSv/h	無	
2	キムタオル	A	01	D	B	0.1 m ³	5 μSv/h	5 μSv/h	無	
3	難燃シート	C	02	D	B	0.2 m ³	5 μSv/h	5 μSv/h	無	
4						m ³				
5						m ³				
注: α有、β α有の場合、α線量情報をここに記載のこと。										

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受付番号				
廃2018	—	02	—	0554
				2018/2/19
調整後保管日時		2018年2月28日		11:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2018年2月28日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICWBL	F1-ICWBL-55
2			
3			
4			

保管 実績 記入 欄 メ モ	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β + γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	ドラム缶(プレス済み) ⑩	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアC	2018/2/28 11:00	3 m ³			1
									m ³			
									m ³			
									m ³			
									m ³			
* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												
メ モ												

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウェス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				D	伐 採 木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—
		②	状 態			D:乾燥, W:湿気有		③	履 歴	A:「1F構内にあった物」 B:「工事のために持ち込まれた物」			

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)
 注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。
 注5: β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β + γ線量率欄に「β + γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β + γ線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013704 - 0016

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2018	—	02	—	0555
				2018/2/19
調整後保管日時		2018年2月28日		13:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2018年2月28日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-158
2		ICW	F1-ICW-025
3			
4			

作 業 主 管 G 記 入 欄	保管希望日時	2018年2月28日		(水)	13:00		承認	審査	作成		
	作業件名	1F フランジタンク除染設備設置									
	発生場所	大型機器メンテナンス建屋						2018/2/19	2018/2/19	2018/2/19	
	作業主管G	貯留設備グループ				監理員	TEL				
	元請会社					担当者	TEL				
	線量測定年月日	2018/1/11	測定者			測定器名	電離箱		管理番号	F1-ICW-129	
	No.	保管物名			※カテゴリ		物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率
	1	紙・ダンボール			A 01 D B	0.5 m ²	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h	無		
	2	ビニール			A 02 D B	0.3 m ²	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h	無		
	3	可燃テープ			A 04 D B	0.1 m ²	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h	無		
4	皮手袋			A 04 D B	0.1 m ²	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h	無			
5	ウエス			A 01 D B	0.5 m ²	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h	無			

保管実績記入欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	紙・ダンボール	2 μ Sv/h	2 μ Sv/h		エリアO	2018/2/28 12:45	0.6 m ²			1
	2	1	ビニール	2 μ Sv/h	2 μ Sv/h		エリアO	2018/2/28 12:45	0.4 m ²			1
	3	1	可燃テープ	2 μ Sv/h	2 μ Sv/h		エリアO	2018/2/28 12:45	0.1 m ²			1
	6	1	パッキン③	5 μ Sv/h	5 μ Sv/h		エリアC	2018/2/28 13:00	0.2 m ²			2
	7	1	防災シート③	5 μ Sv/h	5 μ Sv/h		エリアC	2018/2/28 13:00	0.3 m ²			2

* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用／減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ホリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—	
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—	
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類	
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他	
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—	
		C	難 燃 物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—	
				D	伐 採 木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05
		②	状 態			D:乾燥, W:湿気有		③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」				

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

瓦礫類・伐採木管理票（別紙）

作業 主 管 G 記 入 欄	No.	保 管 物 名	※カテゴリ				物 量		測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		$\beta \cdot \alpha$ 汚染の 有無	$\beta + \gamma$ 線量率	
			①	②	③										
	6	パッキン	B	10	D	B	0.2	m ²	0.01	mSv/h	0.01	mSv/h	無		
	7	防災シート	B	10	D	B	0.3	m ²	0.01	mSv/h	0.01	mSv/h	無		
	8	セメント粉	B	09	D	B	0.5	m ³	0.01	mSv/h	0.01	mSv/h	無		
	9	番線	B	01	D	B	0.1	m ²	0.01	mSv/h	0.01	mSv/h	無		
	10	ゴム製品	C	01	D	B	0.3	m ²	0.01	mSv/h	0.01	mSv/h	無		

固体廃棄物管理G記入欄					
受付番号	廃2018	—	02	—	0555

[illegible]

* 総量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用／減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ホリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
		D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		②	状態	D:乾燥, W:湿気有	③	履歴	A:「1F構内にあった物」、B:「工事のために持ち込まれた物」						

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと

注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6012908 - 0033

作業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2018年2月28日		(水)	8:00		承認	審査	作成					
	作業件名	1F 通信機械室不要設備撤去												
	発生場所	5・6号S/B地下1階						2018/2/20	2018/2/20	2018/2/16				
	作業主管G	通信システムグループ				監理員			TEL					
	元請会社					担当者			TEL					
	線量測定年月日	2018/2/6	測定者			測定器名	電離箱サーベイメータ		管理番号	F1-ICW-052				
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率					
1	足場板	B	01	D	A	1.5	m ²	0.5	μSv/h	0.5	μSv/h	無		
2							m ²							
3							m ²							
4							m ²							
5							m ²							
注: α 有、 $\beta \alpha$ 有の場合、 α 線量情報をここに記載のこと。														

固体廃棄物管理G記入欄					受付
受 付 番 号					
廃2018	—	02	—	0556	2018/2/20
調整後保管日時		2018年2月28日			8:00
【保管時の指示事項等】					

線量測定内容				
測定日	2018年2月28日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICW	F1-ICW-025	
2				
3				
4				

保管 実 績 記 入 欄 メ モ	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	足場板 ⑩	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアC	2018/2/28 8:00	1.5 m ²			1
									m ²			
									m ²			
									m ²			
									m ²			
									m ²			
* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												
メ モ												

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ホリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
		D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		②	状態	D:乾燥, W:湿気有		③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」					

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票														計上No. 6013704 - 0017			
作業主管理G記入欄	保管希望日時	2018年2月28日				(水)	13:00				承認	審査	作成				
	作業件名	タンク減容・保管委託(H29)															
	発生場所	定検機材倉庫(A)										2018/2/19	2018/2/19	2018/2/19			
	作業主管G	貯留設備グループ					監理員		TEL								
	元請会社						担当者		TEL								
	線量測定年月日	2017/10/10		測定者				測定器名		F1-ICWBL、H		管理番号 189,29					
	No.	保管物名				※カテゴリ		物 量		測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		β・α 汚染の有無		β + γ 線量率	
	1	フランジタンク片側板 (T170085)				B	11	D	A	21 m ²	0.002 mSv/h	0.002 mSv/h	β 有	10 mSv/h			
	2	フランジタンク片側板 (T170088)				B	11	D	A	21 m ²	0.002 mSv/h	0.002 mSv/h	β 有	8 mSv/h			
	3	フランジタンク片側板 (T170090)				B	11	D	A	21 m ²	0.002 mSv/h	0.002 mSv/h	β 有	1 mSv/h			
4	フランジタンク片側板 (T170091)				B	11	D	A	21 m ²	0.003 mSv/h	0.006 mSv/h	β 有	200 mSv/h				
5	フランジタンク片側板 (T170093)				B	11	D	A	21 m ²	0.002 mSv/h	0.003 mSv/h	β 有	8 mSv/h				
注: α 有、β α 有の場合、α 線量情報をここに記載のこと。 ※20ftコンテナに積み込み、保管致します。																	

線量測定内容													
測定日	2018年2月28日												
測定No.	氏名	測定器	管理番号										
1		ICWBL	F1-ICWBL-105										
2													
3													
4													

保管実績記入欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		β + γ 線量率		保管場所	保管日時	物 量		再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
				2	μ Sv/h	3	μ Sv/h	3	μ Sv/h			21	m ²			
1	1	フランジタンク片側板 (T170085)	2	μ Sv/h	3	μ Sv/h	3	μ Sv/h	エリアP1(フランジタンク)	2018/2/28 13:00	21	m ²		T170085	1	
2	1	フランジタンク片側板 (T170088)	2	μ Sv/h	4	μ Sv/h	4	μ Sv/h	エリアP1(フランジタンク)	2018/2/28 13:00	21	m ²		T170088	1	
3	1	フランジタンク片側板 (T170090)	2	μ Sv/h	3	μ Sv/h	3	μ Sv/h	エリアP1(フランジタンク)	2018/2/28 13:00	21	m ²		T170090	1	
4	1	フランジタンク片側板 (T170091)	2	μ Sv/h	3	μ Sv/h	3	μ Sv/h	エリアP1(フランジタンク)	2018/2/28 13:00	21	m ²		T170091	1	
5	1	フランジタンク片側板 (T170093)	2	μ Sv/h	5	μ Sv/h	5	μ Sv/h	エリアP1(フランジタンク)	2018/2/28 13:00	21	m ²		T170093	1	

* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。 固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カテゴリ	①	A	可燃物	01 紙・ウェス類		02 プラスチック・ポリ・ビニール類		03 木材類		04 可燃物その他		05		
				06		07		08		09		10		
				01 金属ガラ		02 コンクリートガラ		03 機器類・制御盤類		04 土砂類		05 塩化ビニール類		
				06 保温材		07 石綿含有物		08 ケーブル類		09 アスファルトガラ		10 不燃物その他		
				11 フランジタンク本体		12 フランジタンク付属品		13		14		15		
②	B	不燃物	01 ゴム類		02 難燃シート類		03 ホース類		04 難燃物その他		05			
			01 伐採木(幹・根)		02 伐採木(枝・葉)		03		04		05			
③	C	難燃物	01 伐採木(幹・根)		02 伐採木(枝・葉)		03		04		05			
			01 伐採木(幹・根)		02 伐採木(枝・葉)		03		04		05			
④	D	伐採木	01 伐採木(幹・根)		02 伐採木(枝・葉)		03		04		05			
			01 伐採木(幹・根)		02 伐採木(枝・葉)		03		04		05			
②			状 態			D:乾燥, W:湿気有			③			履歴		
A:「1F構内にあった物」、B:「工事のために持ち込まれた物」														

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β + γ 線量率欄に「β + γ」の線量率を記載すること。β 汚染無の場合は、β + γ 線量率の記載不要。

瓦礫類・伐採木管理票（別紙）

作業主 管 G 記 入 欄	No.	保 管 物 名	※カテゴリ				物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率		$\beta \cdot \alpha$ 汚染の 有無	$\beta + \gamma$ 線量率
			①	②	③							
	6	フランジタンク片側板(T170095)	B	11	D	A	21 m ²	0.003 mSv/h	0.004 mSv/h	0.004 mSv/h	β 有	150 mSv/h
	7	フランジタンク片側板(T170096)	B	11	D	A	21 m ²	0.002 mSv/h	0.002 mSv/h	0.002 mSv/h	無	
	8	フランジタンク片側板(T170097)	B	11	D	A	21 m ²	0.002 mSv/h	0.002 mSv/h	0.002 mSv/h	無	
	9	フランジタンク片側板(T170100)	B	11	D	A	21 m ²	0.002 mSv/h	0.002 mSv/h	0.002 mSv/h	β 有	5 mSv/h
	10	フランジタンク片側板(T170101)	B	11	D	A	21 m ²	0.002 mSv/h	0.002 mSv/h	0.002 mSv/h	β 有	12 mSv/h

固体廃棄物管理G記入欄					
受付番号	廃2018	—	02	—	0557

保 管 実 績 記 入 欄	No.	枝 番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		$\beta + \gamma$ 線量率		保管場所	保管日時	物 量		再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	6	1	フランジタンク片側板(T170095)	2	μ Sv/h	6	μ Sv/h	6	μ Sv/h	エリアP1(フランジタンク)	2018/2/28 13:00	21	m ²		T170095	1
	7	1	フランジタンク片側板(T170096)	2	μ Sv/h	6	μ Sv/h	6	μ Sv/h	エリアP1(フランジタンク)	2018/2/28 13:00	21	m ²		T170096	1
	8	1	フランジタンク片側板(T170097)	2	μ Sv/h	4	μ Sv/h	4	μ Sv/h	エリアP1(フランジタンク)	2018/2/28 13:00	21	m ²		T170097	1
	9	1	フランジタンク片側板(T170100)	2	μ Sv/h	4	μ Sv/h	4	μ Sv/h	エリアP1(フランジタンク)	2018/2/28 13:00	21	m ²		T170100	1
	10	1	フランジタンク片側板(T170101)	2	μ Sv/h	4	μ Sv/h	4	μ Sv/h	エリアP1(フランジタンク)	2018/2/28 13:00	21	m ²		T170101	1
													m ²			
													m ²			
													m ²			
													m ²			
													m ²			
													m ²			
													m ²			
													m ²			
													m ²			
													m ²			
													m ²			
													m ²			

* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用／減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ホリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				D	伐 採 木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—
		②	状 態			D:乾燥, W:湿気有		③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」			

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013704 - 0017

作業 主 管 G 記 入 欄	保管希望日時	2018年2月28日		(水)	13:00		承認	審査	作成	
	作業件名	タンク減容・保管委託(H29)								
	発生場所	定検機材倉庫(A)						2018/2/19	2018/2/19	2018/2/19
	作業主管G	貯留設備グループ				監理員			TEL	
	元請会社					担当者			TEL	
	線量測定年月日	2017/10/18	測定者			測定器名	F1-ICWBL		管理番号	189
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β + γ 線量率	
	① ② ③									
1	フランジタンク片側板 (T170131)	B	11	D	A	21 m ²	0.002 mSv/h	0.002 mSv/h	β 有	12 mSv/h
2	フランジタンク片側板 (T170135)	B	11	D	A	21 m ²	0.002 mSv/h	0.002 mSv/h	無	
3	フランジタンク片側板 (T170139)	B	11	D	A	21 m ²	0.002 mSv/h	0.002 mSv/h	β 有	6 mSv/h
4	フランジタンク片側板 (T170140)	B	11	D	A	21 m ²	0.002 mSv/h	0.002 mSv/h	無	
5	フランジタンク片側板 (T170141)	B	11	D	A	21 m ²	0.002 mSv/h	0.002 mSv/h	無	
メモ	注: α 有、β α 有の場合、α 線量情報をここに記載のこと。									

固体廃棄物管理G記入欄					受付
受 付 番 号					
廃2018	—	02	—	0558	2018/2/20
調整後保管日時		2018年2月28日		13:00	
【保管時の指示事項等】					

線量測定内容				
測定日	2018年2月28日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICWBL	F1-ICWBL-105	
2				
3				
4				

保管 実績 記 入 欄	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β + γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	フランジタンク片側板 (T170131)	2 μSv/h	2 μSv/h	2 μSv/h	エリアP1(フランジタンク)	2018/2/28 13:00	21 m ²		T170131	1
	2	1	フランジタンク片側板 (T170135)	2 μSv/h	5 μSv/h	5 μSv/h	エリアP1(フランジタンク)	2018/2/28 13:00	21 m ²		T170135	1
	3	1	フランジタンク片側板 (T170139)	2 μSv/h	3 μSv/h	3 μSv/h	エリアP1(フランジタンク)	2018/2/28 13:00	21 m ²		T170139	1
	4	1	フランジタンク片側板 (T170140)	2 μSv/h	5 μSv/h	5 μSv/h	エリアP1(フランジタンク)	2018/2/28 13:00	21 m ²		T170140	1
	5	1	フランジタンク片側板 (T170141)	2 μSv/h	5 μSv/h	5 μSv/h	エリアP1(フランジタンク)	2018/2/28 13:00	21 m ²		T170141	1
メモ	*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載											
メモ												

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウェス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				D	伐 採 木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—
		②	状 態			D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」、B:「工事のために持ち込まれた物」				

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)
 注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。
 注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β + γ 線量率欄に「β + γ」の線量率を記載すること。β 汚染無の場合は、β + γ 線量率の記載不要。

瓦礫類・伐採木管理票（別紙）

作業主 管G 記入 欄	No.	保 管 物 名	※カテゴリ				物 量		測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		β・α 汚染の 有無	β + γ 線量率	
			①		②										
	6	フランジタンク片側板(T170116)	B	11	D	A	21	m ²	0.002	mSv/h	0.002	mSv/h	β 有	20	mSv/h
	7	フランジタンク片側板(T170117)	B	11	D	A	21	m ²	0.002	mSv/h	0.002	mSv/h	β 有	15	mSv/h
	8	フランジタンク片側板(T170118)	B	11	D	A	21	m ²	0.002	mSv/h	0.003	mSv/h	β 有	200	mSv/h
	9	フランジタンク片側板(T170124)	B	11	D	A	21	m ²	0.002	mSv/h	0.002	mSv/h	β 有	10	mSv/h
	10	フランジタンク片側板(T170125)	B	11	D	A	21	m ²	0.002	mSv/h	0.002	mSv/h	β 有	12	mSv/h

固体廃棄物管理G記入欄					
受付番号	廃2018	—	02	—	0559

保 管 実 績 記 入 欄	No.	枝 番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		β + γ 線量率		保管場所	保管日時	物 量		再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	6	1	フランジタンク片側板(T170116)	2	μ Sv/h	2	μ Sv/h	2	μ Sv/h	エリアP1(フランジタンク)	2018/2/28 13:00	21	m ²		T170116	1
	7	1	フランジタンク片側板(T170117)	2	μ Sv/h	4	μ Sv/h	4	μ Sv/h	エリアP1(フランジタンク)	2018/2/28 13:00	21	m ²		T170117	1
	8	1	フランジタンク片側板(T170118)	2	μ Sv/h	5	μ Sv/h	5	μ Sv/h	エリアP1(フランジタンク)	2018/2/28 13:00	21	m ²		T170118	1
	9	1	フランジタンク片側板(T170124)	2	μ Sv/h	2	μ Sv/h	2	μ Sv/h	エリアP1(フランジタンク)	2018/2/28 13:00	21	m ²		T170124	1
	10	1	フランジタンク片側板(T170125)	2	μ Sv/h	3	μ Sv/h	3	μ Sv/h	エリアP1(フランジタンク)	2018/2/28 13:00	21	m ²		T170125	1
													m ²			
													m ²			
													m ²			
													m ²			
													m ²			
													m ²			
													m ²			
													m ²			
													m ²			
													m ²			
													m ²			

*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カ テ ゴ リ	①	A 可燃物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ホリ・ビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05 —
			06 —	07 —	08 —	09 —	10 —
	B 不燃物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05 塩化ビニール類	06 不燃物その他
		06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10 不燃物その他	11 フランジタンク本体
	C 難燃物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05 —	12 フランジタンク付属品
		01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05 —	13 —
②	状 態	D:乾燥, W:湿気有	③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」		

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)
 注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。
 注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β + γ線量率欄に「β + γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β + γ線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013104 - 0002

作 業 主 管 G 記 入 欄	保管希望日時	2018年2月26日		(月)	9:30	承認	審査	作成	
	作業件名	1~4号機建屋接続トレンチほか閉塞工事							
	発生場所	土捨場 (GN-10 北西)					2018/2/15	2018/2/15	2018/2/15
	作業主管 G	トレンチ対策グループ			監理員	TEL			
	元請会社				担当者	TEL			
	線量測定年月日	2018/2/9	測定者			測定器名	ICW		
	No.	保管物名			※カテゴリ	物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	
		①	②	③				$\beta + \gamma$ 線量率	
	1	難燃シート類	C	02	D	B	3 m ²	0.002 mSv/h	
	2						m ²		
	3						m ²		
	4						m ²		
	5						m ²		
メ モ	回収								

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
高2018	—	02	—	0116
				2018/2/15
調整後保管日時		2018年2月26日		9:30
【保管時の指示事項等】				
発生場所にて管理票の確認 運搬車を配備致しますので 保管物の詰込みをお願いします。				

線量測定内容			
測定日	2018年2月26日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-158
2			
3			
4			

保 管 実 績 記 入 欄	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	難燃シート類	2 μ Sv/h	2 μ Sv/h		エリアO	2018/2/26 9:40	0.1 m ²			1
									m ²			
									m ²			
									m ²			
メ モ	* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載											

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				D	伐 採 木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—
		②	状 態			D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」				

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)
 注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。
 注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013104 - 0002

作業主管理G記入欄	保管希望日時	2018年2月26日	(月)	9:30	承認	審査	作成													
	作業件名	1~4号機建屋接続トレンチほか閉塞工事																		
	発生場所	土捨場 (GN-10 北西)			2018/2/15	2018/2/15	2018/2/15													
	作業主管G	トレンチ対策グループ		監理員	TEL															
	元請会社			担当者	TEL															
	線量測定年月日	2018/2/9	測定者		測定器名	ICW	管理番号 F1-ICW-215													
No.	保管物名	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率											
		①	②	③																
		1	プラスチック・ポリ・ビニール類	A						02	D	B	1	m ²	0.002	mSv/h	0.004	mSv/h	無	
		2											m ²							
		3											m ²							
		4											m ²							
5						m ²														
メ モ	回収																			

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
高2018	—	02	—	0117
				2018/2/15
調整後保管日時		2018年2月26日		9:30
【保管時の指示事項等】				
発生場所にて管理票の確認 運搬車を配備致しますので 保管物の詰込みをお願いします。				

線量測定内容			
測定日	2018年2月26日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-158
2			
3			
4			

保管実績記入欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		$\beta + \gamma$ 線量率		保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
				2	μ Sv/h	2	μ Sv/h								
	1	1	プラスチック・ポリ・ビニール類	2	μ Sv/h	2	μ Sv/h			エリアO	2018/2/26 9:40	0.1 m ²			1
												m ²			
												m ²			
												m ²			
												m ²			

* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。 固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—	
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—	
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類	
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他	
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—	
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—	
		D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—	
		②	状態	D:乾燥, W:湿気有		③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」						

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013708 - 0048

作業主管理G記入欄	保管希望日時	2018年2月26日		(月)	9:00	承認	審査	作成		
	作業件名	タンクヤード除草作業								
	発生場所	NO. 1地下貯水槽廻り及び給油所周辺エリア(GS-22北東側)					2018/2/16	2018/2/16	2018/2/16	
	作業主管G	貯留設備グループ			監理員	TEL				
	元請会社				担当者	TEL				
	線量測定年月日	2018/2/15	測定者			測定器名	電離箱サーベイメータ	管理番号	F1-ICW-222	
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β+γ 線量率	
		①	②	③						
	1	ウエス類	A	01	W	A	0.1 m ²	0.001 mSv/h	0.008 mSv/h	無
	2	紙類	A	01	D	A	0.5 m ²	0.001 mSv/h	0.008 mSv/h	無
	3	プラスチック・ポリ・ビニール類	A	02	D	A	0.5 m ²	0.001 mSv/h	0.008 mSv/h	無
	4	可燃物その他(雑草)	A	04	D	A	0.5 m ²	0.001 mSv/h	0.008 mSv/h	無
	5						m ²			
	回収									

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
高2018	—	02	—	0120
				2018/2/16
調整後保管日時		2018年2月26日		9:00
【保管時の指示事項等】				
発生場所にて管理票の確認 運搬車を配備致しますので 保管物の詰込みをお願いします。				

線量測定内容			
測定日	2018年2月26日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-158
2			
3			
4			

保管実績記入欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β+γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	ウエス類	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアO	2018/2/26 9:15	0.1 m ²			1
	2	1	紙類	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアO	2018/2/26 9:15	0.2 m ²			1
	3	1	プラスチック・ポリ・ビニール類	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアO	2018/2/26 9:15	0.4 m ²			1
	4	1	可燃物その他(雑草)	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアO	2018/2/26 9:15	0.3 m ²			1
									m ²			

* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—	
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—	
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類	
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他	
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—	
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—	
		D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—	
		②	状態	D:乾燥, W:湿気有		③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」						

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ 線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β 汚染無の場合は、β+γ 線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6010112 - 0001

作 業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2018年2月26日	(月)	9:30	承認	審査	作成				
	作業件名	福島第一原子力発電所構内一般廃棄物処理他業務									
	発生場所	福島第一原子力発電所構内 No.5倉庫 (GM-19 北東)			2018/2/16	2018/2/16	2018/2/16				
	作業主管G	総務グループ		監理員	TEL						
	元請会社			担当者	TEL						
	線量測定年月日	2018/2/15	測定者		測定器名	F1-ICW	管理番号	378			
G 記 入 欄 メ モ	No.	保管物名			※カテゴリ	物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率	
		①	②	③							
	1	プラスチック・ポリ・ビニール類	A	02	D	A	5 m ³	5 μ Sv/h	5 μ Sv/h	無	
	2						m ³				
	3						m ³				
	4						m ³				
5						m ³					
メ モ	回収										

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
高2018	—	02	—	0127
				2018/2/19
調整後保管日時		2018年2月26日		9:30
【保管時の指示事項等】				
発生場所にて管理票の確認 運搬車を配備致しますので 保管物の詰込みをお願いします。				

線量測定内容			
測定日	2018年2月26日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-158
2			
3			
4			

保 管 実 績 記 入 欄 メ モ	No.	枝 番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	プラスチック・ポリ・ビニール類	2 μ Sv/h	2 μ Sv/h		エリアO	2018/2/26 9:45	4.4 m ³			1
									m ³			
									m ³			
									m ³			
									m ³			
* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												
メ モ												

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—	
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—	
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類	
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他	
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—	
		C	難 燃 物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—	
				D	伐 採 木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05
		②	状 態			D:乾燥, W:湿気有		③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」				

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6010112 - 0001

作業主管理G記入欄	保管希望日時	2018年2月26日	(月)	10:00	承認	審査	作成													
	作業件名	福島第一原子力発電所構内一般廃棄物処理他業務																		
	発生場所	福島第一原子力発電所構内 No.5倉庫 (GM-19 北東)			2018/2/16	2018/2/16	2018/2/16													
	作業主管G	総務グループ		監理員	TEL															
	元請会社			担当者	TEL															
	線量測定年月日	2018/2/15	測定者			測定器名	F1-ICW	管理番号	378											
No.	保管物名	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β+γ 線量率											
		①	②	③																
		1	プラスチック・ポリ・ビニール類	A						02	D	A	5	m ³	5	μSv/h	5	μSv/h	無	
		2											m ³							
		3											m ³							
		4											m ³							
5						m ³														
メモ	回収																			

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
高2018	—	02	—	0128
				2018/2/19
調整後保管日時		2018年2月26日		10:00
【保管時の指示事項等】				
発生場所にて管理票の確認 運搬車を配備致しますので 保管物の詰込みをお願いします。				

線量測定内容			
測定日	2018年2月26日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-158
2			
3			
4			

保管実績記入欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β+γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	プラスチック・ポリ・ビニール類	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアO	2018/2/26 9:45	4.3 m ³			1
									m ³			
									m ³			
									m ³			
メモ	* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載											

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
		D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		②	状態	D:乾燥, W:湿気有		③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」					

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)
 注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。
 注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票										計上No. 6010112 - 0001												
作業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時		2018年2月27日		(火)		9:30		承認		審査	作成										
	作業件名		福島第一原子力発電所構内一般廃棄物処理他業務																			
	発生場所		福島第一原子力発電所構内 No.5倉庫 (GM-19 北東)						2018/2/16		2018/2/16	2018/2/16										
	作業主管G		総務グループ				監理員		TEL													
	元請会社						担当者		TEL													
	線量測定年月日		2018/2/15		測定者				測定器名		F1-ICW											
									管理番号		378											
	No.		※カテゴリ				物 量		測定場所 雰囲気線量率		表面線量率											
											β・α 汚染の有無											
											β + γ 線量率											
1		ダンボール		A 01 D A		5 m ²		5 μSv/h		5 μSv/h		無										
2						m ²																
3						m ²																
4						m ²																
5						m ²																
回収																						
<div> <div> <div>固体廃棄物管理G記入欄</div> <div>受付</div> </div> <div> <div>受付番号</div> <div> <div>高2018</div> <div>—</div> <div>02</div> <div>—</div> <div>0129</div> </div> <div>2018/2/19</div> </div> <div> <div>調整後保管日時</div> <div>2018年2月27日</div> <div>9:30</div> </div> <div>【保管時の指示事項等】</div> <div>発生場所にて管理票の確認 運搬車を配備致しますので 保管物の詰込みをお願いします。</div> </div>																						
<div> <div>線量測定内容</div> <div> <div>測定日</div> <div>2018年2月27日</div> </div> <div> <div>測定No.</div> <div>氏名</div> <div>測定器</div> <div>管理番号</div> </div> <div> <div>1</div> <div></div> <div>ICW</div> <div>F1-ICW-158</div> </div> <div> <div>2</div> <div></div> <div></div> <div></div> </div> <div> <div>3</div> <div></div> <div></div> <div></div> </div> <div> <div>4</div> <div></div> <div></div> <div></div> </div> </div>																						
保管 実 績 記 入 欄 メ モ	No.	枝番	保管物名		測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		β + γ 線量率		保管場所		保管日時		物 量		再利用/ 減容可否		コンテナNo.		測定No.	
	1	1	ダンボール		2 μSv/h		2 μSv/h				エリアO		2018/2/27 9:50		5 m ²						1	
															m ²							
															m ²							
															m ²							
															m ²							
* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用／減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載																						
<div> <div>※カテゴリ</div> <div> <div>①</div> <div> <div>A 可燃物</div> <div>01 紙・ウエス類</div> <div>02 プラスチック・ポリ・ビニール類</div> <div>03 木材類</div> <div>04 可燃物その他</div> <div>05 —</div> </div> <div> <div>B 不燃物</div> <div>06 —</div> <div>07 —</div> <div>08 —</div> <div>09 —</div> <div>10 —</div> </div> <div> <div>C 難燃物</div> <div>01 金属ガラ</div> <div>02 コンクリートガラ</div> <div>03 機器類・制御盤類</div> <div>04 土砂類</div> <div>05 塩化ビニール類</div> </div> <div> <div>D 伐採木</div> <div>06 保温材</div> <div>07 石綿含有物</div> <div>08 ケーブル類</div> <div>09 アスファルトガラ</div> <div>10 不燃物その他</div> </div> <div> <div>11 フランジタンク本体</div> <div>12 フランジタンク付属品</div> <div>13 —</div> <div>14 —</div> <div>15 —</div> </div> <div> <div>01 ゴム類</div> <div>02 難燃シート類</div> <div>03 ホース類</div> <div>04 難燃物その他</div> <div>05 —</div> </div> <div> <div>01 伐採木(幹・根)</div> <div>02 伐採木(枝・葉)</div> <div>03 —</div> <div>04 —</div> <div>05 —</div> </div> </div> <div> <div>② 状態</div> <div>D:乾燥, W:湿気有</div> <div>③ 履歴</div> <div>A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」</div> </div> </div>																						
<div> <div>注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)</div> <div>注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。</div> <div>注5: β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β + γ線量率欄に「β + γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β + γ線量率の記載不要。</div> </div>																						

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013705 - 0005

作 業 主 管 G 記 入 欄	保管希望日時	2018年3月2日		(金)	11:00		承認	審査	作成	
	作業件名	1F-1~4号機 サブドレン他集水タンク付属設備設置工事								
	発生場所	旧1~4 スクリーンエリア(GH-23 南側)						2018/2/20	2018/2/20	2018/2/20
	作業主管G	地下水対策グループ			監理員			TEL		
	元請会社				担当者			TEL		
	線量測定年月日	2018/1/11	測定者			測定器名	ICWBL		管理番号	F1-ICWBL-127
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率	
		①	②	③						
	1	木材類	A	03	D	B	5 m ²	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h	無
	2						m ²			
	3						m ²			
	4						m ²			
	5						m ²			
×	回収									
モ										

固体廃棄物管理G記入欄					受付
受 付 番 号					
高2018	—	02	—	0143	2018/2/20
調整後保管日時		2018年2月28日			10:00
【保管時の指示事項等】					
発生場所にて管理票の確認 運搬車を配備致しますので 保管物の詰込みをお願いします。					

線量測定内容			
測定日	2018年2月28日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-158
2			
3			
4			

保 管 実 績 記 入 欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	木材類	2 μ Sv/h	2 μ Sv/h		エリアO	2018/2/28 10:15	5 m ²			1
									m ²			
									m ²			
									m ²			
×												
モ												

* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ホリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—	
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—	
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類	
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他	
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—	
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—	
				D	伐 採 木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05
		②	状 態			D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」					

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票										計上No. 6013101 - 0002		固体廃棄物管理G記入欄		受付										
作業主管理G記入欄	保管希望日時		2018年2月28日		(水)		8:00		承認		審査		作成											
	作業件名		構内排水路清掃業務委託(毎年度)																					
	発生場所		M・K系排水路(GH-26北西)						2018/2/22		2018/2/22		2018/2/22											
	作業主管G		土木保全・総括グループ				監理員		TEL															
	元請会社						担当者		TEL															
線量測定年月日		2018/2/16		測定者				測定器名		ICW		管理番号		F1-ICW-120										
No.		保管物名			※カテゴリ			物 量		測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無		$\beta + \gamma$ 線量率								
1		可燃物その他(草・落葉)			A 04 W A			5 m ²		0.01 mSv/h		0.02 mSv/h		無										
2								m ²																
3								m ²																
4								m ²																
5								m ²																
注: α 有、 $\beta \alpha$ 有の場合、 α 線量情報をここに記載のこと。 回収。ロールコンテナ車希望																								
線量測定内容																								
測定日		2018年2月28日																						
測定No.		氏名		測定器		管理番号																		
1				ICW		F1-ICW-158																		
2																								
3																								
4																								
保管実績記入欄	No.		枝番		保管物名		測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		$\beta + \gamma$ 線量率		保管場所		保管日時		物 量		再利用/ 減容可否		コンテナNo.		測定No.	
	1		1		可燃物その他(草・落葉)		2 μ Sv/h		2 μ Sv/h				エリアO		2018/2/28 8:10		4.1 m ²						1	
																	m ²							
																	m ²							
																	m ²							
* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。 固体庫保管時はコンテナNo.記載																								
※カテゴリー																								
※カテゴリー		①		A 可燃物		01 紙・ウエス類		02 プラスチック・ホリ・ビニール類		03 木材類		04 可燃物その他		05		—								
						06 —		07 —		08 —		09 —		10 —										
				B 不燃物		01 金属ガラ		02 コンクリートガラ		03 機器類・制御盤類		04 土砂類		05 塩化ビニール類										
						06 保温材		07 石綿含有物		08 ケーブル類		09 アスファルトガラ		10 不燃物その他										
						11 フランジタンク本体		12 フランジタンク付属品		13 —		14 —		15 —										
				C 難燃物		01 ゴム類		02 難燃シート類		03 ホース類		04 難燃物その他		05 —										
						01 伐採木(幹・根)		02 伐採木(枝・葉)		03 —		04 —		05 —										
				D 伐採木		01 伐採木(幹・根)		02 伐採木(枝・葉)		03 —		04 —		05 —										
						01 伐採木(幹・根)		02 伐採木(枝・葉)		03 —		04 —		05 —										
				②		状態		D:乾燥, W:湿気有		③		履歴		A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」										
注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)																								
注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。																								
注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。																								

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票										計上No. 6010112 - 0001		
作業主管理G記入欄	保管希望日時	2018年2月28日		(水)	9:30		承認	審査	作成			
	作業件名	福島第一原子力発電所構内一般廃棄物処理他業務										
	発生場所	福島第一原子力発電所構内(小型焼却炉エリア)						2018/2/22	2018/2/22	2018/2/22		
	作業主管G	総務グループ			監理員			TEL				
	元請会社				担当者			TEL				
	線量測定年月日	2018/1/24		測定者			測定器名	F1-ICW		管理番号	234	
	No.	保管物名			※カテゴリ		物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β+γ 線量率	
	1	ビニール類 (金属コンテナ収納済)			A	02	D	A	4 m ³	3 μSv/h	3 μSv/h	無
	2								m ³			
	3								m ³			
4								m ³				
5								m ³				
メモ	持ち込み と調整済み(固体廃棄物管理G連絡済)											

固体廃棄物管理G記入欄										受付	
受付番号											
高2018	—	02	—	0148	2018/2/22						
調整後保管日時				2018年2月28日				9:30			
【保管時の指示事項等】											

線量測定内容									
測定日	2018年2月28日								
測定No.	氏名	測定器	管理番号						
1		ICW	F1-ICW-158						
2									
3									
4									

保管実績記入欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		β+γ 線量率		保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
1	1	1	ビニール類 (金属コンテナ収納済)	2	μSv/h	2	μSv/h			エリアO	2018/2/28 9:30	4 m ³			1
												m ³			
												m ³			
												m ³			
												m ³			

* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カテゴリ	①	A	可燃物	01 紙・ウエス類		02 プラスチック・ポリ・ビニール類		03 木材類		04 可燃物その他		05 —	
				06 —	07 —	08 —	09 —	10 —					
①	B	不燃物	01 金属ガラ		02 コンクリートガラ		03 機器類・制御盤類		04 土砂類		05 塩化ビニール類		
			06 保温材		07 石綿含有物		08 ケーブル類		09 アスファルトガラ		10 不燃物その他		
			11 フランジタンク本体		12 フランジタンク付属品		13 —		14 —		15 —		
			01 難燃物		02 難燃シート類		03 ホース類		04 難燃物その他		05 —		
②	D	伐採木	01 伐採木(幹・根)		02 伐採木(枝・葉)		03 —		04 —		05 —		
			③ 履歴		A:「1F構内にあった物」、B:「工事のために持ち込まれた物」								

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6010112 - 0001

作業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2018年2月28日	(水)	10:00	承認	審査	作成			
	作業件名	福島第一原子力発電所構内一般廃棄物処理他業務								
	発生場所	福島第一原子力発電所構内(小型焼却炉エリア)			2018/2/22	2018/2/22	2018/2/22			
	作業主管G	総務グループ		監理員	TEL					
	元請会社			担当者	TEL					
	線量測定年月日	2018/1/24	測定者		測定器名	F1-ICW	管理番号	234		
	No.	保管物名	※カテゴリ		物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β+γ 線量率	
1	ビニール類 (金属コンテナ収納済)	A	02	D	A	4 m ²	3 μSv/h	3 μSv/h	無	
2						m ²				
3						m ²				
4						m ²				
5						m ²				
メモ	持ち込み と調整済み(固体廃棄物管理G連絡済)									

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
高2018	—	02	—	0149
				2018/2/22
調整後保管日時		2018年2月28日		10:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2018年2月28日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-158
2			
3			
4			

保管 実績 記入 欄 メ モ	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β+γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	ビニール類 (金属コンテナ収納済)	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアO	2018/2/28 9:45	4 m ²			1
									m ²			
									m ²			
									m ²			
									m ²			
* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												
メモ												

※カ テ ゴ リ	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		②	状 態	D:乾燥, W:湿気有	③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」						
注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)													
注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。													
注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。													

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票										計上No. 6010112 - 0001		固体廃棄物管理G記入欄		受付				
作業 主 管 G 記 入 欄	保管希望日時		2018年2月28日		(水)		10:30		承認		審査		作成		受付番号			
	作業件名		福島第一原子力発電所構内一般廃棄物処理他業務										高2018		— 02 — 0150		2018/2/22	
	発生場所		福島第一原子力発電所構内(小型焼却炉エリア)										2018/2/22		2018/2/22		2018/2/22	
	作業主管G		総務グループ				監理員				TEL				調整後保管日時		2018年2月28日 10:30	
	元請会社						担当者				TEL				【保管時の指示事項等】			
	線量測定年月日		2018/1/24		測定者				測定器名		F1-ICW		管理番号		234			
	No.		保管物名			※カテゴリ			物 量		測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無		$\beta + \gamma$ 線量率	
	1		ビニール類 (金属コンテナ収納済)			A 02 D A			3 m ³		3 μ Sv/h		3 μ Sv/h		無			
	2		発泡スチロール(金属コンテナ収納済)			A 02 D A			1 m ³		3 μ Sv/h		3 μ Sv/h		無			
	3								m ³									
4								m ³										
5								m ³										
持ち込み		と調整済み(固体廃棄物管理G連絡済)																

線量測定内容											
測定日		2018年2月28日									
測定No.	氏名	測定器	管理番号								
1		ICW	F1-ICW-158								
2											
3											
4											

保管 実績 記 入 欄	No.	枝 番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
1	1	1	ビニール類 (金属コンテナ収納済)	2 μ Sv/h	2 μ Sv/h		エリアO	2018/2/28 10:30	3 m ³			1
2	1	1	発泡スチロール(金属コンテナ収納済)	2 μ Sv/h	2 μ Sv/h		エリアO	2018/2/28 10:30	1 m ³			1
									m ³			
									m ³			
									m ³			

* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—		
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—		
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類		
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他		
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—		
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—		
		D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—		
		②	状態	D:乾燥, W:湿気有	③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」								
		注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)													
		注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。													
注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。															

注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票										計上No. 6010112 - 0001		固体廃棄物管理G記入欄				受付										
作業主管理G記入欄	保管希望日時		2018年2月28日			(水)		11:00			承認		審査		作成		受付番号									
	作業件名		福島第一原子力発電所構内一般廃棄物処理他業務										高2018				—		02		—		0151		2018/2/22	
	発生場所		福島第一原子力発電所構内(小型焼却炉エリア)										2018/2/22		2018/2/22		2018/2/22		調整後保管日時		2018年2月28日		11:00			
	作業主管G		総務グループ					監理員			TEL			【保管時の指示事項等】												
	元請会社							担当者			TEL															
	線量測定年月日		2018/1/24		測定者				測定器名		F1-ICW		管理番号		234											
No.		保管物名			※カテゴリ			物 量		測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		β・α 汚染の有無		β + γ 線量率										
1		発泡スチロール (金属コンテナ収納済)			A 02 D A			4 m³		3 μSv/h		3 μSv/h		無												
2								m³																		
3								m³																		
4								m³																		
5								m³																		
持ち込み		と調整済み(固体廃棄物管理G連絡済)																								
線量測定内容																										
測定日		2018年2月28日																								
測定No.		氏名		測定器		管理番号																				
1				ICW		F1-ICW-158																				
2																										
3																										
4																										
保管実績記入欄	No.		枝番		保管物名		測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		β + γ 線量率		保管場所		保管日時		物 量		再利用/ 減容可否		コンテナNo.		測定No.			
	1		1		発泡スチロール (金属コンテナ収納済)		2 μSv/h		2 μSv/h				エリアO		2018/2/28 10:35		4 m³						1			
																	m³									
																	m³									
																	m³									
																	m³									
* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載																										
※カテゴリ																										
①																										
A 可燃物																										
01 紙・ウエス類																										
02 プラスチック・ホリ・ビニール類																										
03 木材類																										
04 可燃物その他																										
05 —																										
06 —																										
07 —																										
08 —																										
09 —																										
10 —																										
B 不燃物																										
01 金属ガラ																										
02 コンクリートガラ																										
03 機器類・制御盤類																										
04 土砂類																										
05 塩化ビニール類																										
06 保温材																										
07 石綿含有物																										
08 ケーブル類																										
09 アスファルトガラ																										
10 不燃物その他																										
11 フランジタンク本体																										
12 フランジタンク付属品																										
13 —																										
14 —																										
15 —																										
C 難燃物																										
01 ゴム類																										
02 難燃シート類																										
03 ホース類																										
04 難燃物その他																										
05 —																										
D 伐採木																										
01 伐採木(幹・根)																										
02 伐採木(枝・葉)																										
03 —																										
04 —																										
05 —																										
② 状態 D:乾燥, W:湿気有 ③ 履歴 A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」																										
注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)																										
注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。																										
注5: β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β + γ線量率欄に「β + γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β + γ線量率の記載不要。																										

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票															計上No. 6010112 - 0001			
作業主管理記録入欄メモ	保管希望日時		2018年2月28日				(水)		11:30				承認		審査		作成	
	作業件名		福島第一原子力発電所構内一般廃棄物処理他業務															
	発生場所		福島第一原子力発電所構内(小型焼却炉エリア)								2018/2/22		2018/2/22		2018/2/22			
	作業主管G		総務グループ						監理員				TEL					
	元請会社								担当者				TEL					
	線量測定年月日		2018/1/24		測定者				測定器名		F1-ICW		管理番号		234			
	No.		保管物名		※カテゴリ			物 量		測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無		$\beta + \gamma$ 線量率		
					①	②	③											
	1		紙類 (金属コンテナ収納済)		A	01	D	A	2	m ²	3	μSv/h	3	μSv/h	無			
	2		ペットボトル(金属コンテナ収納済)		A	02	D	A	2	m ²	3	μSv/h	3	μSv/h	無			
3									m ²									
4									m ²									
5									m ²									
持ち込み と調整済み(固体廃棄物管理G連絡済)																		

線量測定内容														
測定日		2018年2月28日												
測定No.	氏名			測定器		管理番号								
1				ICW		F1-ICW-158								
2														
3														
4														

保管実績記入欄メモ	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		$\beta + \gamma$ 線量率		保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	紙類 (金属コンテナ収納済)	2	μSv/h	2	μSv/h			エリアO	2018/2/28 11:10	2	m ²		1
	2	1	ペットボトル(金属コンテナ収納済)	2	μSv/h	2	μSv/h			エリアO	2018/2/28 11:10	2	m ²		1
													m ²		
													m ²		
													m ²		

* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用／減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票										計上No. 6013704 - 0028		
作 業 主 管 G 記 入 欄	保管希望日時	2018年2月27日		(火)	9:00		承認	審査	作成			
	作業件名	G1エリアタンクリプレイス関連工事										
	発生場所	Eタンクエリア (GQ-25 中央)						2018/2/23	2018/2/23	2018/2/23		
	作業主管G	貯留設備グループ				監理員			TEL			
	元請会社					担当者			TEL			
	線量測定年月日	2018/2/16	測定者			測定器名	β+γ用電離箱		管理番号	F1-ICWBL-27		
メ モ	No.	保管物名			※カテゴリ		物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率		β・α 汚染の有無	β+γ 線量率
		①	②	③								
	1	紙・ウェス類	A 01	D B	0.35	m ²	0.002	mSv/h	0.01	mSv/h	無	
	2	プラスチック・ポリ・ビニール類	A 02	D B	2.1	m ²	0.002	mSv/h	0.01	mSv/h	無	
	3	木材類	A 03	D B	0.4	m ²	0.002	mSv/h	0.01	mSv/h	無	
	4	トンバック	A 04	D B	1.25	m ²	0.002	mSv/h	0.01	mSv/h	無	
5	ゴム類	C 01	D B	0.5	m ²	0.002	mSv/h	0.01	mSv/h	無		
メ モ	回収											

固体廃棄物管理G記入欄					受付
受 付 番 号					
高2018	—	02	—	0153	2018/2/23
調整後保管日時		2018年2月27日		9:00	
【保管時の指示事項等】					
発生場所にて管理票の確認 運搬車を配備致しますので 保管物の詰込みをお願いします。					

線量測定内容			
測定日	2018年2月27日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-158
2			
3			
4			

保管 実績 記 入 欄	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β+γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
1	1	紙・ウェス類	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアO	2018/2/27 9:30	0.3 m ²				1
2	1	プラスチック・ポリ・ビニール類	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアO	2018/2/27 9:30	1.4 m ²				1
3	1	木材類	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアO	2018/2/27 9:30	0.3 m ²				1
4	1	トンバック	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアO	2018/2/27 9:30	0.8 m ²				1
5	1	ゴム類	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアO	2018/2/27 9:30	0.1 m ²				1

*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用／減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	02	03	04	05			
				紙・ウェス類	プラスチック・ポリ・ビニール類	木材類	可燃物その他	—			
				—	—	—	—	—			
				06	07	08	09	10			
②	B	不 燃 物	01	02	03	04	05				
			金属ガラ	コンクリートガラ	機器類・制御盤類	土砂類	塩化ビニール類				
			06	07	08	09	10				
			保温材	石綿含有物	ケーブル類	アスファルトガラ	不燃物その他				
③	C	難 燃 物	11	12	13	14	15				
			フランジタンク本体	フランジタンク付属品	—	—	—				
			01	02	03	04	05				
			ゴム類	難燃シート類	ホース類	難燃物その他	—				
④	D	伐 採 木	01	02	03	04	05				
			伐採木(幹・根)	伐採木(枝・葉)	—	—	—				
			01	02	03	04	05				
			伐採木(幹・根)	伐採木(枝・葉)	—	—	—				
⑤		状 態		D:乾燥, W:湿気有		⑥		履 歴		A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」	

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。

瓦礫類・伐採木管理票（別紙）

作業主 管G 記入欄	No.	保 管 物 名	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		$\beta \cdot \alpha$ 汚染の 有無	$\beta + \gamma$ 線量率			
			①	②	③										
	6	難燃シート類	C	02	D	B	0.3	m ²	0.002	mSv/h	0.01	mSv/h	無		
	7	難燃物その他	C	04	D	B	0.2	m ²	0.002	mSv/h	0.01	mSv/h	無		
	8						m ²								
	9						m ²								
	10						m ²								

固体廃棄物管理G記入欄					
受付番号	高2018	—	02	—	0153

[illegible]

*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用／減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カテゴリー	①	A	可燃物	01 紙・ウエス類		02 プラスチック・ホリ・ビニール類		03 木材類		04 可燃物その他		05 —		
				06 —		07 —		08 —		09 —		10 —		
		B	不燃物	01 金属ガラ		02 コンクリートガラ		03 機器類・制御盤類		04 土砂類		05 塩化ビニール類		
				06 保温材		07 石綿含有物		08 ケーブル類		09 アスファルトガラ		10 不燃物その他		
				11 フランジタンク本体		12 フランジタンク付属品		13 —		14 —		15 —		
		C	難燃物	01 ゴム類		02 難燃シート類		03 ホース類		04 難燃物その他		05 —		
		D	伐採木	01 伐採木(幹・根)		02 伐採木(枝・葉)		03 —		04 —		05 —		
		②	状態	D:乾燥, W:湿気有		③	履歴	A:「1F構内にあった物」、B:「工事のために持ち込まれた物」						

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票										計上No. 6013704 - 0028		
作 業 主 管 入 欄	保管希望日時	2018年2月28日		(水)	9:00		承認	審査	作成			
	作業件名	G1エリアタンクリプレイス関連工事										
	発生場所	Eタンクエリア (GQ-25 中央)						2018/2/23	2018/2/23	2018/2/23		
	作業主管G	貯留設備グループ				監理員			TEL			
	元請会社					担当者			TEL			
G 記 入 欄	線量測定年月日	2018/2/16		測定者			測定器名	β+γ用電離箱		管理番号	F1-ICWBL-27	
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β+γ 線量率			
	① ② ③											
	1	発砲スチロール			5 m ³	0.002 mSv/h	0.01 mSv/h	無				
	2				m ³							
	3				m ³							
4				m ³								
5				m ³								
メ モ	注: α有、β α有の場合、α線量情報をここに記載のこと。 「回収」											

固体廃棄物管理G記入欄					受付
受 付 番 号					2018/2/23
高2018	—	02	—	0154	
調整後保管日時		2018年2月28日			9:00
【保管時の指示事項等】					
発生場所にて管理票の確認 運搬車を配備致しますので 保管物の詰込みをお願いします。					

線量測定内容			
測定日	2018年2月28日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-158
2			
3			
4			

保管 実績 記入 欄	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		β+γ 線量率		保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
				2	μ Sv/h	2	μ Sv/h								
	1	1	発砲スチロール	2	μ Sv/h	2	μ Sv/h			エリアO	2018/2/28 8:50	4.4 m ³			1
												m ³			
												m ³			
												m ³			
												m ³			

* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

メ
モ

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—	
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—	
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類	
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他	
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—	
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—	
		D	伐 採 木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—	
		②	状 態	D:乾燥、W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」、B:「工事のために持ち込まれた物」							

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。

計上No. 6013704 - 0028

作業主	保管希望日時	2018年2月28日		(水)	10:00		承認		審査		作成					
	作業件名	G1エリアタンクリプレイス関連工事														
主	発生場所	Eタンクエリア (GQ-25 中央)						2018/2/23		2018/2/23		2018/2/23				
	作業主管 G	貯留設備グループ				監理員				TEL						
管	元請会社					担当者				TEL						
	線量測定年月日	2018/2/16		測定者				測定器名		$\beta + \gamma$ 用電離箱		管理番号				
G	No.	※カテゴリ				物 量		測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無		$\beta + \gamma$ 線量率		
	①		②		③											
記入欄	1	発砲スチロール		A	02	D	B	5	m ²	0.002	mSv/h	0.01	mSv/h	無		
	2								m ²							
	3								m ²							
	4								m ²							
	5								m ²							
メモ	回収															

固体廃棄物管理G記入欄					受付
受 付 番 号					
高2018	—	02	—	0155	
					2018/2/23
調整後保管日時			2018年2月28日		9:30
【保管時の指示事項等】					
発生場所にて管理票の確認 運搬車を配備致しますので 保管物の詰込みをお願いします。					

線量測定内容			
測定日	2018年2月28日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-158
2			
3			
4			

保管 実績 記入 欄	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		$\beta + \gamma$ 線量率		保管場所	保管日時	物 量		再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
1	1	1	発砲スチロール	2	μ Sv/h	2	μ Sv/h			エリアO	2018/2/28 9:20	3.8	m ³			1
													m ³			
													m ³			
													m ³			
													m ³			

* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用／減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

メモ	
----	--

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウェス類	02	プラスチック・ホリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
		D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		②	状態	D:乾燥, W:湿気有	③	履歴	A:「1F構内にあった物」、B:「工事のために持ち込まれた物」						

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)
注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。
注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

File No.	6012319 - 0001
----------	----------------

固体廃棄物管理G記入欄					受付
受 付 番 号					
高2018	—	02	—	0158	
					2018/2/23
調整後保管日時			2018年2月28日		10:30
【保管時の指示事項等】					
発生場所にて管理票の確認 運搬車を配備致しますので 保管物の詰込みをお願いします。					

保管実績記入欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		$\beta + \gamma$ 線量率		保管場所	保管日時	物 量		再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	プラスチック・ホリ・ビニール類	2	μ Sv/h	2	μ Sv/h			エリアO	2018/2/28 10:40	3.6	m ³			1
	1	2	プラスチック・ホリ・ビニール類 (→H)	2	μ Sv/h	2	μ Sv/h			エリアO	2018/2/28 10:40	1	m ³			1
	2	1	紙・ウエス類	2	μ Sv/h	2	μ Sv/h			エリアO	2018/2/28 10:40	0.8	m ³			1
													m ³			
													m ³			

* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用／減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

メモ

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウェス類	02	プラスチック・ホリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
		D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		②	状態	D:乾燥, W:湿気有	③	履歴	A:「1F構内にあった物」、B:「工事のために持ち込まれた物」						

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)
注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。
注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

計上No. 6013708 - 0028

作業主	保管希望日時	2018年2月28日		(水)	10:00		承認		審査		作成		
	作業件名	雨水移送設備処理設備PE管他設置工事【その1】											
主	発生場所	タンクヤード (GR-26 西)						2018/2/26		2018/2/26		2018/2/26	
	作業主管 G	貯留設備グループ				監理員				TEL			
管	元請会社					担当者				TEL			
	線量測定年月日	2018/2/22		測定者		測定器名		電離箱測定器		管理番号		F1-ICW-378	
G	No.	保管物名	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率			
			①	②	③								
記入欄	1	ウレタン	A	02	D	B	5 m ²	2 μ Sv/h	2 μ Sv/h	無			
	2						m ²						
	3						m ²						
	4						m ²						
	5						m ²						
メモ	回収												

固体廃棄物管理G記入欄					受付
受 付 番 号					
高2018	—	02	—	0161	
					2018/2/27
調整後保管日時			2018年2月28日		11:00
【保管時の指示事項等】					
発生場所にて管理票の確認 運搬車を配備致しますので 保管物の詰込みをお願いします。					

線量測定内容			
測定日	2018年2月28日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-158
2			
3			
4			

保管 実績 記入 欄	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量		再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
1	1	ウレタン	2	$\mu\text{Sv/h}$	2	$\mu\text{Sv/h}$			エリアO	2018/2/28 11:25	3.4	m ³			1
												m ³			
												m ³			
												m ³			
												m ³			

* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用／減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

メモ	
----	--

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
		D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		②	状態	D:乾燥, W:湿気有	③	履歴	A:「1F構内にあった物」、B:「工事のために持ち込まれた物」						

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)
注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。
注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票										計上No. 6013708 - 0028																																																																																																					
作業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時		2018年2月28日		(水)		11:00		承認		審査		作成																																																																																																		
	作業件名		雨水移送設備処理設備PE管他設置工事【その1】																																																																																																												
	発生場所		タンクヤード (GR-26 西)						2018/2/26		2018/2/26		2018/2/26																																																																																																		
	作業主管G		貯留設備グループ				監理員				TEL																																																																																																				
	元請会社						担当者				TEL																																																																																																				
	線量測定年月日		2018/2/22		測定者				測定器名		電離箱測定器		管理番号 F1-ICW-378																																																																																																		
	No.		※カテゴリ			物 量		測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無		$\beta + \gamma$ 線量率																																																																																																	
	1		ウレタン			A 02 D B		4 m ²		2 μ Sv/h		2 μ Sv/h		無																																																																																																	
	2		テープ類			A 04 D B		1 m ²		2 μ Sv/h		2 μ Sv/h		無																																																																																																	
	3							m ²																																																																																																							
4							m ²																																																																																																								
5							m ²																																																																																																								
回収																																																																																																															
<div> <div> <div>線量測定内容</div> <table border="1"> <thead> <tr> <th>測定日</th> <th colspan="3">2018年2月28日</th> </tr> <tr> <th>測定No.</th> <th>氏名</th> <th>測定器</th> <th>管理番号</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td></td> <td>ICW</td> <td>F1-ICW-158</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>4</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> </div> <table border="1"> <thead> <tr> <th>保管 実績 記入 欄 メ モ</th> <th>No.</th> <th>枝 番</th> <th>保 管 物 名</th> <th>測定場所 雰囲気線量率</th> <th>表面線量率</th> <th>$\beta + \gamma$ 線量率</th> <th>保管場所</th> <th>保管日時</th> <th>物 量</th> <th>再利用/ 減容可否</th> <th>コンテナNo.</th> <th>測定No.</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="5"></td> <td>1</td> <td>1</td> <td>ウレタン</td> <td>2 μ Sv/h</td> <td>2 μ Sv/h</td> <td></td> <td>エリアO</td> <td>2018/2/28 11:15</td> <td>4 m²</td> <td></td> <td></td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>1</td> <td>テープ類</td> <td>2 μ Sv/h</td> <td>2 μ Sv/h</td> <td></td> <td>エリアO</td> <td>2018/2/28 11:15</td> <td>0.9 m²</td> <td></td> <td></td> <td>1</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>m²</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>m²</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>m²</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> </div>														測定日	2018年2月28日			測定No.	氏名	測定器	管理番号	1		ICW	F1-ICW-158	2				3				4				保管 実績 記入 欄 メ モ	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.		1	1	ウレタン	2 μ Sv/h	2 μ Sv/h		エリアO	2018/2/28 11:15	4 m ²			1	2	1	テープ類	2 μ Sv/h	2 μ Sv/h		エリアO	2018/2/28 11:15	0.9 m ²			1									m ²												m ²												m ²			
測定日	2018年2月28日																																																																																																														
測定No.	氏名	測定器	管理番号																																																																																																												
1		ICW	F1-ICW-158																																																																																																												
2																																																																																																															
3																																																																																																															
4																																																																																																															
保管 実績 記入 欄 メ モ	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.																																																																																																			
	1	1	ウレタン	2 μ Sv/h	2 μ Sv/h		エリアO	2018/2/28 11:15	4 m ²			1																																																																																																			
	2	1	テープ類	2 μ Sv/h	2 μ Sv/h		エリアO	2018/2/28 11:15	0.9 m ²			1																																																																																																			
									m ²																																																																																																						
									m ²																																																																																																						
									m ²																																																																																																						
* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。 固体庫保管時はコンテナNo.記載																																																																																																															
メ モ																																																																																																															
※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ホリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—																																																																																																		
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—																																																																																																		
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類																																																																																																		
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他																																																																																																		
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—																																																																																																		
		C	難 燃 物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—																																																																																																		
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—																																																																																																		
		D	伐 採 木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—																																																																																																		
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—																																																																																																		
		②	状 態	D:乾燥, W:湿気有		③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」																																																																																																							
注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。) 注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。 注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。																																																																																																															